

ロードヒータ車を使い、安価に舗装面をリフレッシュ

ヒートスティック

HEAT STICK

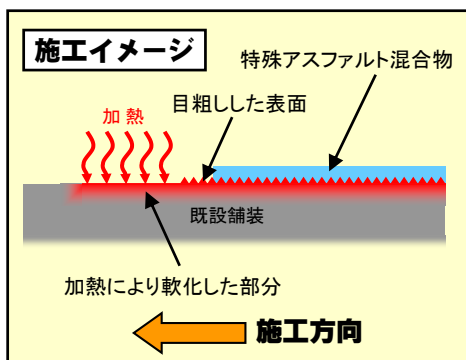


● ヒートスティックとは

ヒートスティックは、サーフェスリサイクリング工法用のロードヒータ車を使ったオーバーレイ工法で、主に美観・走行感の改善を目的とした工法です。

構造的な破損を受けて亀甲状ひび割れが発生している現場への適用は困難ですが、埋設工事の仮復旧やパッチング等による段差の改修に適した、安価で廃材が発生しない環境に優しい工法です。

● 概要



サーフェスリサイクリング工法用ロードヒータ車を用い、既設舗装を劣化させることなく加熱する事で、既設アスファルト混合物と新規アスファルト混合物の接着性を高め、タックコートをしず薄層オーバーレイ（2～3cm）を行なう工法です。加熱された既設アスコンと新規アスコンを同時に転圧する為一体化したアスコン層になります。既設路面をスカリファイヤで目粗しする事で接着力の強化を図ります。混合物は、5mmトップの薄層用特殊アスファルト混合物を使用します。

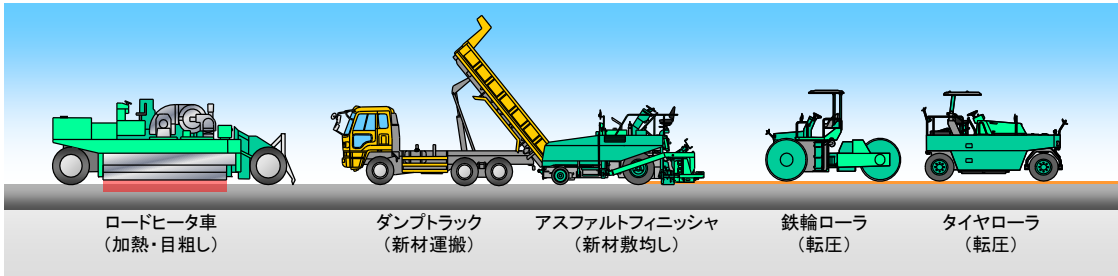
● 適用箇所

- 埋設工事の仮復旧の段差解消
- パッチング跡の段差解消
- 軽微なひび割れの解消
- 平坦性の改善



など主に美観・走行感の改善を目的とした場所

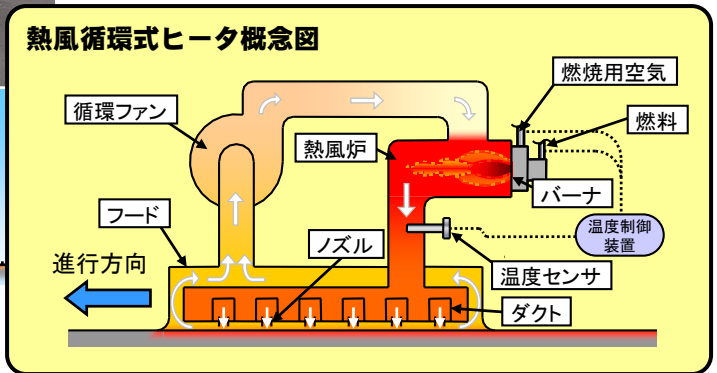
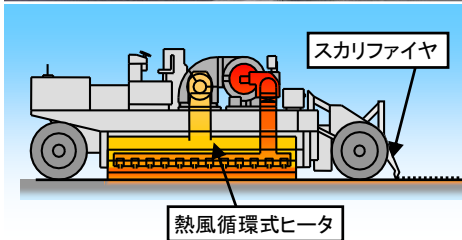
● 施工編成



● ロードヒータ車について



スカリファイヤによる目粗し状況



熱風循環式ヒータの特長

- (1) 熱風炉で発生した熱ガスを路面に吹付け、路面との熱交換を終えたガスを循環ファンにより再び熱風炉に還元するクローズドシステムなので、外部への熱の散逸が少なく、安全に作業が出来ます。
- (2) 従来の直火式ヒータ等に比べ加熱ガス温度が低い(600~700℃)為、舗装表面の燃焼による発煙やアスファルトの劣化が抑えられます。また、熱風炉で発生した加熱ガスを多数のノズルから高速で路面に吹きつけるため、路面の凹凸に関係なく、全面均一に加熱でき、ムラのない温度が得られます。
- (3) 加熱温度は、自動制御装置により正確にコントロールが可能な為、施工条件に応じた適切な加熱温度に設定できます。

地球にやさしい技術力

鹿島道路株式会社

<http://www.kajimaroad.co.jp>

本 店 〒112-8566 東京都文京区後楽1-7-27(後楽鹿島ビル)

営業部 技術営業課 03-5802-8011 技術部 03-5802-8014

北海道支店 011-699-7744 東北支店 022-216-8501 関東支店 048-872-8001
 東京支店 03-5802-8021 横浜支店 045-312-8061 北陸支店 025-243-3851
 中部支店 052-204-0770 関西支店 06-6910-3701 中四国支店 082-567-4567
 四国営業所 087-885-5800 九州支店 092-451-4356 技術研究所 042-483-0541

担当者